

# 「防災4.0」未来構想プロジェクト 提言骨子(素案)

## はじめに

- ・本プロジェクト設置の趣旨

## I. 総論

### 1. 「防災4.0」とは

- (1)これまでの災害における教訓を踏まえた防災政策の歩み
- (2)「防災4.0」の目指す方向性
  - ・一人一人が災害リスクに向き合い、社会全体で災害への「備え」

### 2. 我が国を取り巻く社会環境の変貌

- ・グローバル化、少子化・高齢社会、情報通信技術の発達...等

### 3. 気候変動に伴い予想される今後の災害の様相

- (1)台風強度増、豪雨頻度増...等
- (2)既存想定を大きく超える災害の激甚化

### 4. 本提言のフレーム

- ・本提言の新規性の提示(情報関連等)
- ・気候変動に対応した防災対策の考え方の具体的方向性
- ・行政による公助だけではなく、住民・企業等による自助・共助の取組を支援するための環境整備

## II. 具体的提言

### 1. 住民・地域における「備え」

- (1)国民一人一人が自ら備えるための契機づくり・国民意識の転換
- (2)地域コミュニティによる備えの強化
  - ・防災対策決定プロセスへの住民参画の推進
- (3)国による住民と地方自治体への支援

### 2. 企業における「備え」

- (1)金融的手法の活用・充実
  - ・CAT債、デリバティブ、リスク監査、リスク移転等
- (2)公的主体及び企業間の連携の強化

### 3. 進展する情報通信技術の防災分野への活用

- ・準天頂衛星、センサ・ネットワーク技術の活用
- ・ソーシャルメディア等を活用した地域コミュニティのつながり強化

## III. 本プロジェクトの今後の展開

- ・防災推進国民会議による国民運動の展開等

## おわりに

- ・多様な主体が「防災4.0」に参画する契機づくりと、防災を「自分ごと」と捉え、自律的に備える社会に向けて

以上